

# 職員採用説明会 獣医職（環境農政局）

県央家畜保健衛生所 企画指導課

技師 渡部

# 目次

**1.自己紹介**

**2.配属先・職場の雰囲気**

**3.仕事の内容**

**4.神奈川県畜産**

**5.入庁してみて**

# 出身と経歴

- 神奈川県出身
- 平成31年 静岡県庁に入庁  
保健所 4年  
家畜保健衛生所 1年
- 令和6年 神奈川県庁に入庁  
県央家畜保健衛生所（2年目）

# 志望理由

## 県職員を選んだ理由

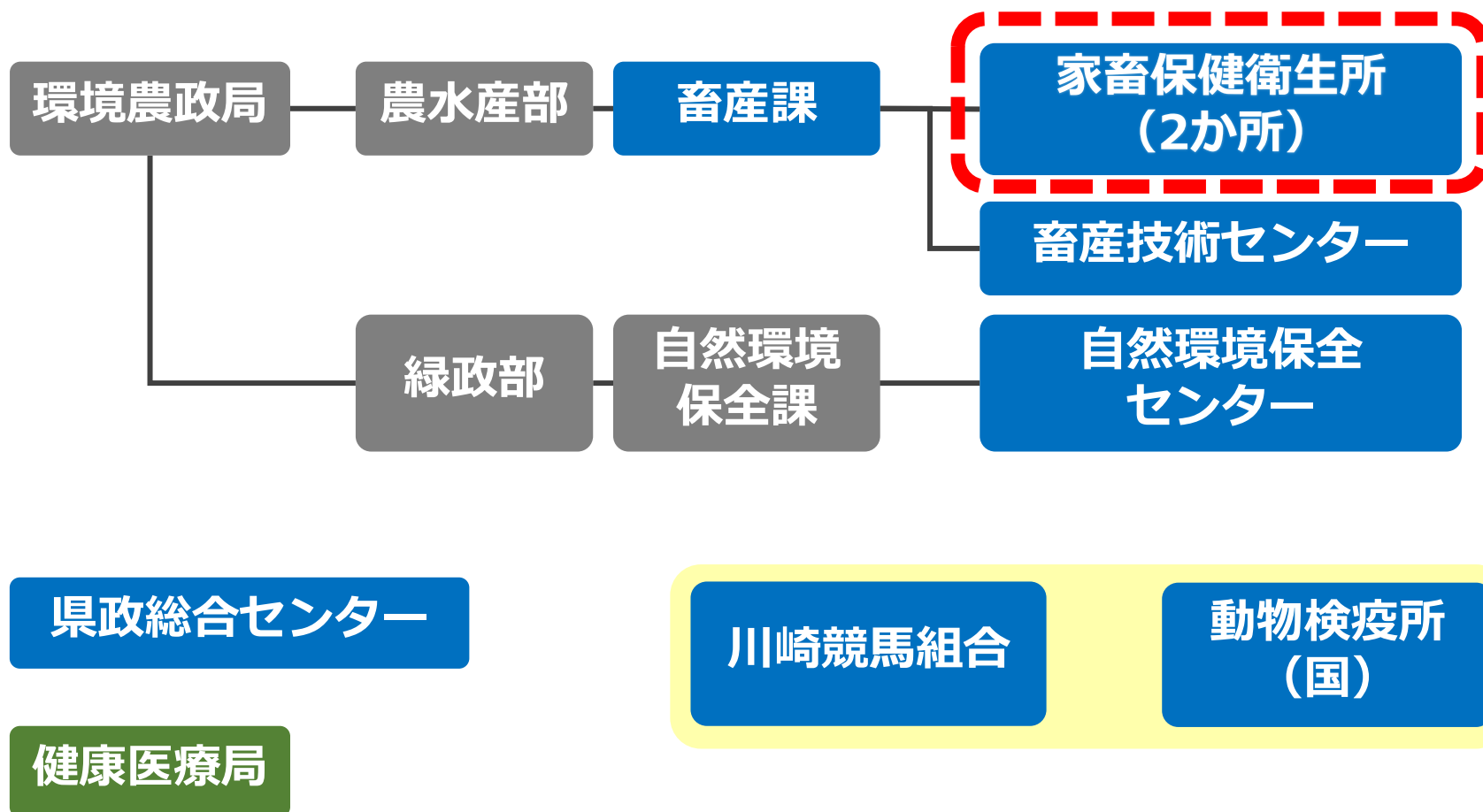
- 多様な業務を経験できる
- 人事異動があるため様々な人と交流できる
- 無理のない働き方ができる（ワークライフバランス）

## 神奈川県を選んだ理由

- 地元で働きたい
- 地域の多様性（都市部、海、山、温泉）

# 獣医師の配属先

## 環境農政局



# 県央家畜保健衛生所の雰囲気

- 事務所が比較的新しく綺麗
- 若手が多くにぎやか
- 気軽に質問や意見ができる
- やりたいことを後押ししてくれる



県央家畜保健衛生所（企画指導課撮影）

# 県央家畜保健衛生所の仕事

## 企画指導課 5人

危機管理、獣医事・薬事指導、畜産環境対策

## 防疫課 13人

伝染病の予防とまん延防止

酪農・肉牛、養豚、養鶏・養蜂

## 病性鑑定課 8人

精密検査（ウイルス、細菌、病理、生化学）

## 東部出張所 3人

獣医事・薬事指導、畜産環境対策など（横浜市、川崎市）



## 担当業務

- **特定家畜伝染病の防疫演習**に関する事
- **備蓄資材の調整**に関する事
- **獣医事・薬事指導**に関する事
- **飼料安全対策**に関する事
- **畜産環境対策指導**に関する事
- **水質汚濁防止法**に関する事

など

# 特定家畜伝染病の防疫演習に関すること

- 所属 : 防疫演習プロジェクトチーム
- メンバー : 両家保、畜産課から選出（R7は8人）
- 業務内容 : 県防疫演習の企画運営

例）他機関との調整、使用する資機材の手配、  
資料作成、当日運営など



# 特定家畜伝染病の防疫演習に関すること



令和 7 年度防疫演習  
(畜産課撮影)

## 畜産環境対策指導に関すること

- 神奈川県は**都市型畜産**（住宅地に農場）
- 持続可能な畜産のための環境協議会

環境巡回で畜産農家を他機関と巡回



## その他の業務（防疫課業務）



## その他の業務（県外派遣）



- 他県で鳥インフルエンザが発生
  - ➡ 応援獣医師として2日間殺処分作業に従事
- 殺処分現場を初めて経験（サブリーダー）
- 防疫演習の経験が役立つ
- 自県の防疫対策の参考に（備蓄資材整備）
- **発生させない＋発生時の迅速対応が重要！**

# ある 1 日の仕事の流れ

今日は  
豚ですよ



8:30 朝礼・メールチェック

9:30 出発 防疫課職員と豚熱ワクチン接種へ

10:00 農場到着・ワクチン接種

11:00 ワクチン接種完了 農家さんとの交流も大事！

11:30 帰所（片付け・シャワー）

12:00 昼食

13:00 事務作業（獣医事届出対応・資材購入準備など）

17:15 終業

# 特徴

- 住宅地に近く都市型畜産を営む
- 畜産業は神奈川県の農業産出額の約 2 割を占める
- 生産量は多くはないが、都市人口の食糧自給の一端を担う



# 入庁当初に不安だったこと

- ・ 在学中は小動物臨床がメインで、大動物の経験はほぼなかった
  - ➡ 経験豊富な先輩が現場で教えてくれた！
- ・ 担当業務の何をどうしたらいいか分からない
  - ➡ 引継ぎの資料だけでなく同行して教育
  - 最初から一人でやることはなかった
  - ※新採用職員指導者（メンター）制度

# 入庁後に感じたこと

- ・長く勤められる職場
- ・福利厚生が充実している

例) 働き方の多様性、休暇など

- ・参加できる研修・資格取得が充実している

例) 家畜衛生講習会、HACCP審査員研修、  
フォークリフト運転技能講習



# まとめ



- 家畜保健衛生所は家畜伝染病予防以外にも様々な業務をしている機関
- 神奈川県は畜産は生産量が多くはないが、都市人口の食糧自給を一端を担う大切な役目をしている
- 多様な働き方ができてライフステージが変わっても安心
- 技術や知識は入ってからもしっかり学べる
- 定期的な異動や県外派遣もあり、様々な経験が積める